

# 町の電力需要削減の取組について

～9月30日まで実施～

図 企画課政策企画担当 ②216

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、

地震による家屋等の倒壊や津波被害により、多くの方が犠牲となりました。また、今回の震災により、東北地方の発電所も被害を受け、福島第一原子力発電所の事故や浜岡原子力発電所の稼働停止により、今年の夏期については、被災地だけでなく広範囲に電力不足となることが予想されます。

町では、これらの事態を重く受け止め、町施設における対応策を取りまとめ、電力需要の削減を図ることとしました。

## 基本方針

電力需要削減計画の取り組みは、町民の生活に影響をおよぼさないよう、可能な限り

通常どおりの業務を行うことを基本とします。

また、本計画は今年の夏期における電力需要の削減を前提としていますが、継続して高い節電効果が見込め、かつ、短期間でその対応が可能な器具交換や施設改修についても可能な限り取り組めます。

さらに、町施設における取組を公表し、町民の理解を得ながら、家庭等においても電力需要削減に取り組んでいただくよう、情報の提供を行います。

## 使用電力削減目標

町施設全体で前年同期対比15%以上の電力需要削減を図ることを目標とします。

## 電力需要削減への全庁的取組

次に掲げる取組については、原則として町内各施設において統一的に取り組むこととします。ただし、熱中症発症の危険性や心身への負荷が高まらないよう十分な工夫を行うなど、施設の業務時間や利用対象者等の状況に応じて、施

設管理者の判断により臨機応変に対応します。

冷房施設関係

冷房設定温度を高く設定

冷房稼働時間の短縮

空調室外機の遮熱化

建物の遮熱化

照明設備関係

白熱灯のLED照明への切り替え

廊下・事務所等での消灯

その他

ノー残業デー（水曜日）の徹底およびやむを得ない残業の早朝対応

クールビズの実施

自動販売機設置業者への協力依頼

パソコン等事務機器のこまめな省電

電気ポットの使用休止

## 電力需要削減への施設別取組

町制施行記念公園のナイター施設については、使用を休止します。

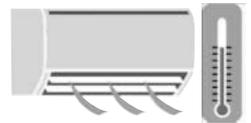
また、各施設では、その特性に合わせて可能な限り個別の電力需要削減と、電力需要の平準化に取り組めます。

## 電力需要削減への取組（イメージ）

こまめに消灯



LED照明への切り替え  
照明・事務機器のこまめな消灯  
ナイター施設の利用休止



28 に設定

クールビズの実施  
残業時間の短縮

15%以上削減

冷房設定温度を高く設定  
冷房稼働時間の短縮  
空調室外機・建物の遮熱化

クールビズ実施中



電力需要削減検討委員会（町組織）による取組み状況管理

指定管理者・自動販売機設置者への協力要請



## 電力需要削減実行の体制

各部署に電力需要削減担当者を設置し、計画に位置付けられた取組を推進します。また、本計画の策定母体である町電力需要削減検討委員会は、電力削減状況を把握し、より効果的な取組となるよう、監

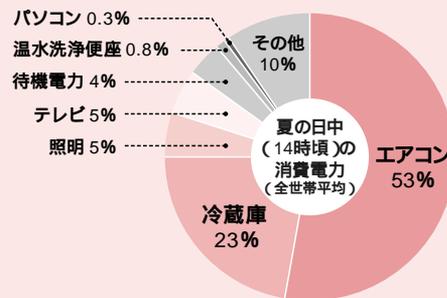
督していきます。

ご家庭での節電にご協力をお願いします。

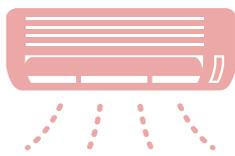
電気の使用量が供給量を上回らないよう、みなさんのご家庭でもより一層の節電にご協力くださるようお願いいたします。

# ご家庭での節電のポイント

夏の電力消費のピークは暑さの厳しい昼間の時間帯。ピーク時間の電力消費はエアコンと冷蔵庫が約3/4と大きな割合を占めます。特にエアコンのご使用をできるだけお控えいただくことが、夏の節電の大きなポイントとなります。



出典：資源エネルギー庁推計  
数値は最大需要発生日を想定  
端数処理の関係で合計は  
100になりません



エアコン

## 温度設定は28 を目安に

高めの設定温度にさせていただきますようお願いいたします。

## 「すだれ」や「よしず」などを上手に活用

日よけにより窓からの日差しを和らげ、冷房の消費電力を抑えていただきますようお願いいたします。

## ご使用は控えめに

ピーク時間は扇風機を使い、無理のない範囲でエアコンのご使用は控えていただきますようお願いいたします。

除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力の増加になるのでご注意ください。

約10%  
削減

設定温度を2 上げた場合

約10%  
削減

約50%  
削減



冷蔵庫

## 設定温度の再確認を

「強」の場合は「中」へ変更していただきますようお願いいたします。

## 詰め込みすぎに注意

庫内は、詰め込みすぎないようにお願いいたします。

## 扉の開け閉めは、短く、少なく

普段から庫内を整理して、開閉の時間や回数を減らしていただきますようお願いいたします。

この3つに  
取り組んで

約2%  
削減



照明・  
その他電気製品

## 照明はこまめに消灯を

日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしていただきますようお願いいたします。

## 待機電力を減らすことも節電のポイント

リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切り、長時間使用しない機器についてはコンセントからプラグを抜いていただきますようお願いいたします。

テレビなどは、時刻設定がリセットされたり、電子番組表の取得ができないなど不便もございますのでご注意ください。

約5%  
削減

約2%  
削減

削減率は資源エネルギー庁の推計です。

日本には、古くから高温多湿の夏を涼しく過ごす知恵がたくさんありました。こうした知恵を見直して活用することで、できるだけ電気を使わずに暑い時間を涼しく過ごすことができます。

古くて新しい「新習慣」

- ・ 緑のカーテンを育てる
- ・ 打ち水をする
- ・ すだれで日陰を作る
- ・ ゴザや簾を利用する
- ・ 「住」の工夫
- ・ 同じ部屋で過ごす
- ・ 庭やバルコニーに緑を
- ・ 窓ガラスに遮熱フィルムを貼る

「衣」の工夫

- ・ 素材や着方を工夫する
- ・ 帽子や日傘を使う
- ・ 寝具を工夫する

また、風鈴の音、寒色系のインテリアやアロマの香りなど、五感に訴える演出をすることで、気分的にも涼しくなり、暑さを和らげる効果が期待できます。

